栃木県の
地域課題・社会課題を
若者の力で解決！

# 特定非営利活動法人
# とちぎユースサポーターズネットワーク

2023
Annual Report



Tochigi
Youth
Supporters
Network

# 「やってみよう」

## という意志を 育むことができる 社会に向けて――。

『若者の力を活かして地域の課題解決・活性化を加速する』使命の実現に向けて、今年も多くの方々のお力と期待をいただき、15期目を迎えようとしております。誠にありがとうございます。2010年から一貫して、若者の活躍や挑戦を支える環境づくりを行うという役割を通じて、若者自身にとっては、自己効力感を持って自らの選択と行動ができる力を、地域社会にとっては、新たな担い手による新たな変化と持続性を育むことができたと自負しております。依然続く人口減少とテクノロジー技術の進歩は、個人が情報発信者となり他者と共有しやすい社会になり、共通性や志向性が近い緩やかな集団が形成されやすくなりました。

一方で、自身と関係がないと思えることは存在しないかのような隔たりがあるように感じています。若者との関わりの中でも、関心があることには詳しいものの、それ以外は全く知らないという状況も見受けられます。また課題の解決に立ち向かう際、課題の不透明さと複雑さ、そして解決に向けた持続性を考えると、専門家(プロフェッショナル、職業化、事業化)を求めてしまうと感じています。確かに、気持ちばかりの若者の力だけでは難しい局面もあり、専門性や持続性などが求められることも理解できます。一方で、専門性を求めすぎるがゆえに、若者がボランティア活動や社会貢献活動などの課題解決の現場に関わる機会、社会に対して貢献できたと思うことのできる機会や経験の不足も懸念しています。単に機会の話ではなく、若者にとって関心外であれば存在していないことに等しく、課題の現場からはどのように若者に情報を届けられるのかが分からない状況であるならば、我々は若者の価値観を理解し、若者に響くような機会を設け、彼らの心に新しいワクワクを“焚き付ける”役割が求められています。

TOSHI MUNE IWAI



代表理事
岩井 俊宗

そこから生まれた、効果や確実性の分からない若者の「やってみよう」という意思を社会の未来に向けた希望の種であると認識し、我々は課題解決力や持続性だけではない価値観を育んで参りたいと考えております。専門性あるプロフェッショナルが集う組織(民間企業、行政、教育機関、医療福祉機関等)においても、組織資源を活用しても単独では課題の解決は難しく、組織を越えた連携の動きも起きています。我々の現場からも、若者たちの願いに近い未来のアイデアが行政や民間企業、教育機関や地域組織など、多様な主体との接着剤になり得ることも感じています。これまで、若者への応援と期待がある地域づくりを進めて参りましたし、これからもより一層力強く進んで参りますが、若者に限らず、全世代がより良い未来に向けて挑戦し、新しい挑戦が育まれ、持続・循環する地域社会を実現できるよう、引き続きお力添え下さい。今後とも温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

## STAFF



### 代表理事　岩井 俊宗（いわい としむね）

宇都宮市出身。2005年宇都宮大学国際学部卒業後、ボランティアコーディネーターとして市民活動支援機関に入職。NPO・ボランティア支援、個別SOSに従事。2008年より若者の成長機会創出と社会課題の解決に向けて持続的に取り組む人材を輩出し、若者による社会づくりの加速を目的に当会を設立し、2010年にNPO法人化。2児のパパ。



### 理事　古河 大輔（ふるかわ だいすけ）

小山市出身。仙台、名古屋、南米ボリビアと各地を転々とした後、地元へ。立ち上げ期から参画し、地域の課題解決と挑戦する若者たちの生態系づくりに取り組む日々。複数のチームで、仲間たちと地域に必要なことや地域を楽しむことをあれこれと企てている。その他、一般社団法人カゼトツチ代表理事等、3足のわらじをはいた複業ワーカー。



### 理事・事務局長　渡邊 貴也（わたなべ たかや）

宇都宮生まれの那須烏山人。市民の社会参画・政治参画意識向上や市民プロジェクト支援が関心分野。那須烏山市でも複数の市民プロジェクトに参画している。2018年にとちぎユースを退職したが、2022年からまさかのUターン再就職を果たす。趣味はレザージャケット収集とウイスキー。



### 事務局　篠原 悠太（しのはら ゆうた）

宮崎県宮崎市出身。大学進学を機に栃木県に移住。在学中から授業やイベント運営等でユースと関わり、インターンシップを経て「もっと若者が挑戦しやすく可能性が育まれる社会」を目指してスタッフとして合流。自主事業であるiDEA→NEXT等の若者育成事業を中心に業務を行う。Vtuber、ゲーム、漫画、アニメ等、趣味はサブカル系。



### 事務局　中山 裕貴（なかやま ひろき）

さくら市出身。埼玉県の大学で行動経済学を専攻し、学外でもイベントの企画運営や学生団体運営をする。新型コロナウイルスの影響で大学4年生時に栃木県にUターンし、卒業後の進路について思案するなかで当会に出会う。その後、約半年間のインターンシップを経てスタッフとして合流。好きな食べ物はパクチーが入っていない生春巻き。



### 事務局　森谷 真依（もりや まい）

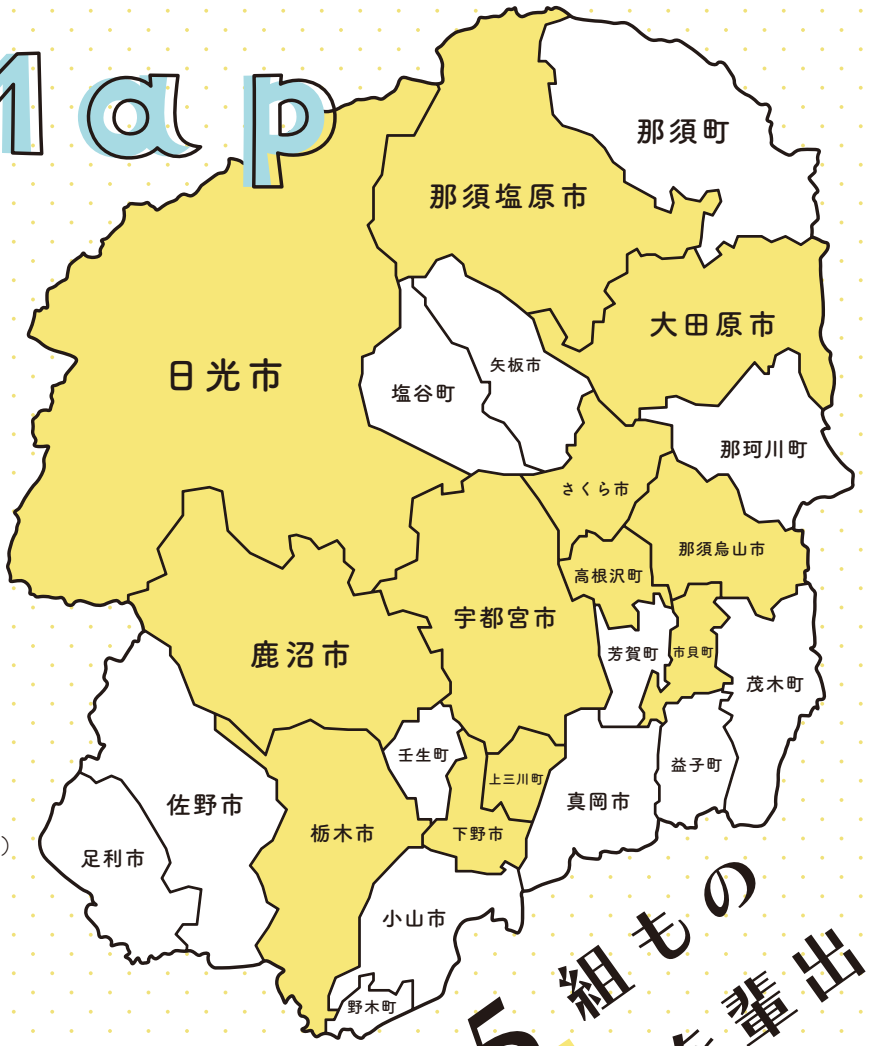
真岡市出身。法政大学でメディア社会学について学ぶ傍ら、離島ボランティアや廃校・古民家再生インターンシップでの活動を通し、「地元に貢献したい」という想いが募り大学4年時にUターン。「若い人の一歩を後押しできるメディアを創りたい」という想いのもと2021年4月にスタッフとして合流。現在は『あしかもメディア』のライター・広報・デザイン担当として活動中。

※事務局の並びは50音順

# Our Map

これまで核として取り組んできた、若者による社会を良くするスタートアッププログラム「iDEA▶NEXT」や実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」などを通して育んだプレイヤーたちとともに、栃木県全体の課題解決を加速させています。

※掲載団体は、主にiDEA▶NEXTのファイナリストで、実際に活動を行った方々を中心に掲載しています
※団体/会社名、もしくはプロジェクト名となっています




75組もの挑戦者を輩出

## 日光市

○ぜりざわ村みんなのキャンプ場（内山 裕介 2021）

## 那須塩原市

○Roots4（小林 岳 2023）
○未来のい～ばしょ（大鹿 哲太 2022）
○みんなの蔵 TEO（君島 奈々 2021）
○高校生コミュニティ Your Dream（小林 龍威 2018）

## さくら市

○褒め褒めフットサル（齊藤弘美 2020）
○まんまとちぎ（NPO法人ポン・テ）（大河原 千晶 2018）
○キッズクレド（田中 崇子 2014）

## 市貝町

○Project SSB（長野 大輔 2014）

## 大田原市

○一般社団法人えんがお（濱野 将行 2017）
○農と共に（阿久津 清尚 2019）

## 那須烏山市

○ユース2000（なすから暮らし復興支援センター 2019）
○NPO法人クロスアクション（渡邊 貴也 2014）

## 高根沢町

○maiMachi（河合 明子 2016）
○高根沢に新しい風を吹き込む「場」を生みだす（佐々木 将志 2019）

## 鹿沼市

○一般社団法人コブル（中尾 貞人 2016）
○合同会社 Crew（伊川 夢起 2014）

## 栃木市

○デモクラティックスクール・つながるひろば（宇賀神 雄太 2015）

## 下野市

○もしもプロジェクト（浅野 暖斗 2023）

## 上三川町

○上三川わくわく women's プロジェクト（花井 沙野佳 2022）
○上三川のいえ（菊地 敦子 2017）

## 宇都宮市

○宇都宮大学障がい児支援サークル NOBA（高橋 剛志 2023）
○学生団体子ども科学ラボ（斎藤 すみれ 2023）
○あしたまた（白金 励大 2022）
○組めば愉快だ宇都宮（高橋 賢司 2022）
○学生団体 DIVE－IN（菊地 皐良 2022）
○RIOT（平井 達朗 2022）
○YUSEKKAI PROJECT（小川 紗理奈 2021）
○同窓会バーベキュー（吉田 圭吾 2021）

## 宇都宮市

○マツカフェ（松井 藍子 2020）
○TOCHIGI MOVIE（川崎 みさ旗 2019）
○社会問題を解決するカフェ Diva（ダー 春花 サラ 2019）
○Satokko（毛利 颯汰 2019）
○株式会社アグクル（小泉 泰英 2018）
○新聞ちぎり絵サークル（舘野智子　2018）
○学生プレゼンコンテスト（高橋利久　2018）
○Tochigi unique wedding（山口 絵美 2017）
○Ballon HEROS（斎藤 宏 2017）
○精神障がい者の食生活支援（間庭 昭雄 2017）
○宇大生シェア化計画（代表 飯ケ浜 綾乃他2名 2017）
○スタディカフェ（木津 英美里 2017）
○NPO法人キーデザイン（土橋 優平 2015）
○トチギええじゃないか（粟野 倫也 2016）
○ガーデンヘルプかぐみえん（小林 かぐみ 2016）
○ことのは教室（内藤 さつき 2015）
○レクスタ（加藤 裕貴 2015）
○ユース500（かぬま市民生活復興センター 2015）
○宇都宮カクテル college（大館 仁志・新妻 星也 2013）

（敬称略）

# 当会について

## NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークとは…

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークは、栃木県をフィールドに活動する団体です。地域 の先輩たちから脈々と受け継いできた私たちの暮らす地域では、様々な問題が表出し、多くの課題が生まれています。私たちの社会が生み出した課題は私たち自身が解決できると信じ、2008 年の団体立ち上げ当初から「人を育み、地域をつくる」ことを事業の核とし、様々な人々と一緒に挑戦しています。









**若い人材がチャレンジできる生態系を育み、**
**ひとや地域とのつながりをつくる**
**地域コーディネーター**として活動します

Encounter on site
### 現場での出会い

若者が社会を創る実践者や地域課題と出会える場づくり

Creating a place
### 活躍できる場づくり

若者が力を発揮でき、主体的に関われるフィールドの創出

Support the challenge
### 挑戦の応援

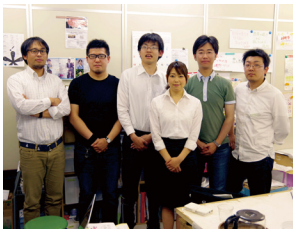
若者が自分の挑戦を継続できるよう、
挑戦を応援し合え、応援してくれる仲間（関係性）づくり

# ミッション

## 若者の力を活かして、
## 地域の課題解決 / 活性化を加速させる

### 課題解決へのアクション

#### 1 地域 / 企業へ向けて…

「若者の力を貸してほしい」「若者人材を獲得したい」など、地域や企業様からのご相談を随時受け付け、個々のニーズに沿ったプログラムや事業を設計します

#### 2 若者へ向けて…




地域で挑戦したい若者は沢山います。「活動できるフィールドを探している」「地域で何かやってみたい」などの想いを抱える若者と関係性を構築し、挑戦できる機会提供を行います

#### 3 市民 / 応援者のご協力を得て…




温かなお気持ちで皆様からいただいたご寄付・ご協賛を、若者の活動機会や成長機会、地域課題を解決するための手立てとして活用させていただきます

## 2023年度 - 2026年度基本方針

1. **挑戦する若者を育む機会の充実と、支援環境の整備・充実**
（若者を育むプログラムの深化、支援者の拡大と若者との融合、社会資源の蓄積と活用）
2. 若者の成長と地域への課題解決・価値創造を育むプロセスと事業モデルを確立し、**他地域に若者地域のコーディネート団体を広げる**。また、連携し、県内全域で若者が挑戦し、高め合う環境を整える
3. **若者の挑戦によって生まれる“ソーシャルインパクト”が増幅する仕組みづくり**

#1

# とちぎ地域づくりフェア at 宇都宮大学




## 地域団体と若者のマッチングを図る『とちぎ地域づくりフェア』開催！





2023年6月3日（土）、宇都宮大学峰ヶ丘講堂にて、「地域で活動してみたいけど何をすればいいのか分からない」「そもそもどうやって情報を集めればいいの？」「一歩踏み出す勇気が出ない…」などの想いを抱える若者に対し、地域で活動するきっかけを提供し、活動をサポートするイベント『とちぎ地域づくりフェア』を開催しました！当日は、栃木県を拠点に地域づくり活動を行う８団体のみなさまにブースをご出展いただき、団体紹介・トークセッション・ブースセッションなどを通して参加者と交流を深められる場づくりを行いました。

### 出展団体

一般社団法人えんがお、一般社団法人nasu lab.、学生団体DIVE－IN、特定非営利活動法人青二才、特定非営利活動法人キーデザイン、特定非営利活動法人トチギ環境未来基地、特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク、特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク（計８団体）

### 運営者・参加者の声



**企画・運営者　篠原 悠太（しのはら ゆうた）**

大学生との会話を通して、「地域で何かやってみたいけれど、何から始めたらいいのか分からない」「そもそも自分が関われる地域活動や、地域活動団体に関する情報を全く知らない」という言葉を聞き、地域活動を行う上でのハードルの高さがあることが分かりました。そこで、地域で活動をしている団体さんと大学生が交流できる本イベントの開催を決めました。３人の大学生（有田 和貴さん、佐々木 美海さん、松本 彩花さん）と共に企画・準備を行い、当日も多数のボランティアさんのご協力をいただきながらイベントを開催・運営することができました。当日は６０名もの方々がご参加くださり、「このイベントをきっかけに地域に飛び出すことができた」という声を沢山いただき、「参加者のみなさんと地域の距離を近づけることができたのではないか」と感じています。



**参加者　工藤 華奈（くどう かな）さん**

大学１年生の頃、漠然と「何かしたい！」と思っていたものの何から始めたらいいのか分からず、地域づくりフェアに参加しました。最初は自分に何かできるのかなという不安もあり、学外のコミュニティに入っていくことにハードルの高さを感じていたのですが、実際にNPO法人で活動をしている大学生や職員の方々に出会い、大学では得られない経験ができました。地域づくりフェアをきっかけに地域でのコミュニティづくりにより興味を持ち、ここで出会ったNPO法人さんのサポートをいただきながらイベントの企画にも挑戦することができました。その後も地元企業でのインターンシップやラジオでお話しさせていただくなど様々な機会をいただき、すべて自分の可能性や自信につながっていると実感しています。あの時参加していなかったらこれらの経験や今の自分はなかったはずなので、勇気を出して一歩踏み出して本当に良かったです。

YORIMO.



# 今日より、明日。

## “あなたらしい”チャレンジを応援

若者コミュニティ『よりも』は、栃木県の若い方が安心してチャレンジできる居場所です。地域社会や暮らしを良くしたり、誰かの笑顔を生み出すような“あなたらしい”チャレンジを応援しています。

学校や会社の枠を飛び越えてとにかく何らかの活動をやってみたい方から、具体的に形にしたいアイデアを持っている方まで、栃木県内の多様な若い方（２５歳以下）が集うコミュニティです。





### No.1 いつでも相談できる仲間と出会える

入会すると Slack 上でいつでもメンバーと雑談・相談することができます。またオンラインだけでなく、イベントの実施など、対面での交流機会もあります。宇都宮大学生・共和大学生・帝京大学生・白鴎大学生・社会人など様々な所属のメンバーとつながり、多様な価値観に触れることができます。最初は不安な気持ちがあってももちろん大丈夫！運営を担う学生のコアメンバーが優しく寄り添い、あなたの気持ちをしっかりと受け止めます。

### No.2 やりたいことを見つける機会がある

Slack では、『よりも』の運営団体や協力団体が提供するイベント・プログラムなどのチャレンジ機会に関する情報を得ることができます。それらのプログラムへの参加や、メンバーが立ち上げるプロジェクトへの参画、興味のある活動をしている大人との出会いや勉強会、交流会などのやりたいことを見つける機会を提供します。

### No.3 あなたが持つアイデアをカタチにできる

やりたいことが見つかった方、すでにやりたいことがある方は、そのやりたいことの実現に向けて必要なサポートを受けることができます。実践経験を積んだコアメンバーや社会人のスタッフが、企画立案や企画のブラッシュアップなどのスキルやリソースを提供することで、初めて何かを行う場面でも安心してチャレンジすることができます。

### 入会・お問い合わせ

「『よりも』について気になることがある」「入会したい」という方は、以下のフォームより面談をお申し込みください。面談は、コミュニティとの相性の確認や、やってみたいことのヒアリングのために実施しています。ぜひお気軽にお申し込みください！（入会金･年会費無料）

1 面談のお申し込み ▶ 2 運営メンバーとの面談 ▶ 3 入会

Instagram

お申し込みフォーム

# iDEA→NEXT







## 社会を良くするアイデアを形にしよう。

社会をよくするアイデアを形にするプログラム『iDEA→NEXT』。このプログラムでは、挑戦者のアイデアの実現を当会が持つノウハウやリソースの提供、メンターからのフィードバック等でサポートします。2023年度は 4 組の挑戦者たちがファイナルプレゼンテーションまで進み、それぞれのアイデアを発表しました。本プログラムは、「とちぎから挑戦の芽を育む」という趣旨に賛同し、応援してくださる皆様からの寄付によって運営できていることも特徴の一つです。今年度も皆様からいただいた寄付金を、挑戦者の活動の原資として活用できる活動支援金の提供や最終報告会の会場費などに活用させていただきました。皆様からの応援により、若者たちが自信をもってチャレンジでき、育ったチャレンジャーたちが次の応援者になります。このように、"応援とチャレンジの循環を作り出す" ことも目指しながら、iDEA→NEXT を運営しています。

### 2023 年度 プログラムスケジュール



- 2023 年 6 月 11 日（土） **キックオフミーティング**
- 2023 年 9 月 15 日（金） **プレゼン講座**
- 2023 年 10 月 14 日（土） **中間報告会**
- 2024 年 1 月 27 日（土） **ファイナルプレゼンテーション**
- 2024 年 2 月 2 日（金） **アフターミーティング**

### ご協賛

栃木銀行、浄土宗光琳寺、コワーキングスペース áret、株式会社ル・リオン、企業組合とちぎ労働福祉事業団、株式会社ジード、株式会社アール・ティー・シー、株式会社万邦通商、株式会社リアンコーポレーション、合同会社新しい箱、特定非営利活動法人中之条コネクト、一般社団法人えんがお、株式会社 akf、一般社団法人 nasu lab.、ファームサイド株式会社、つばめソリューション株式会社、株式会社 innovista、株式会社ワークエントリー 栃木事業部、株式会社クレスコム、株式会社 JcT クリエーションズ、菜の花どうぶつ病院、特定非営利活動法人サロンみんなの保健室、株式会社ワカヤマファーム、一般社団法人 Say smile アカデミー、株式会社エンターテイン、株式会社あを、特定非営利活動法人はばたき、他１５２名の個人寄付の皆様

### コメンテーター

光琳寺住職兼 áret オーナー　井上 広法 氏、（株）ワークエントリー宇都宮営業所所長・（株）itsuka 代表取締役　野崎 千晶 氏
宇都宮大学教授　石井 大一朗 氏、NPO 法人キーデザイン代表理事　土橋 優平 氏

# ファイナリスト

※２０２４年１月時点のアイデアです



## 学生団体 子ども科学ラボ

メンバー：斎藤 すみれさん、大池 さくらさん、齋藤 雄太さん、伏本 遥さん

Idea

### 身近なものの生産現場見学を通して、子どもたちが楽しく科学の視点を持てる機会をつくる

子ども科学ラボは、２０２１年１１月から宇都宮市内を中心に小中学生を対象とした理科実験教室や科学ワークショップを行っている学生団体です。今回のアイデアは、「小・中学生が学校で普段勉強している理科がどのように私たちの生活に関わっているのかについて、実際に体験する機会をつくりたい」という想いから生まれました。2024 年１月には、栃木県鹿沼市でフルーツトマトを栽培する『カキヌマファーム』さまにて実際にイベントを開催しました。



## 宇都宮大学障がい児支援サークル NOBA

メンバー：小山 凜志朗さん、大嶋 愛加さん 、加藤 柚穂さん、高橋 剛志さん

Idea

### LRT × ブレックスの試合を観に行こう！

初めまして！私たち障がい児支援サークル NOBA は主に宇都宮市内の小学生を対象としたイベントの開催や学生向けの障がいに関する学習会、各種他団体様のイベントへの参加などを主な活動としている学生サークルです！宇都宮大学の学生１～３年生、約４０名で活動しています。今回のプロジェクトでは親御さんの「気軽に公共交通機関を利用できない」「お出かけに行きづらい」という実際の声を基に企画、実施しました。障がいのない社会「No Barrier な社会」を目指し、新しい一歩を踏み出した私たち NOBA。今後の活動に注目していただけたら嬉しいです！



## もしもプロジェクト

メンバー：浅野 暖斗さん

Idea

### 下野市の高校生が想像する「やってみたいこと」を企画・実施するサークルを実現したい！

前年度、下野市が実施した事業を引き継いだプロジェクトです。下野市は市内に高校が１校しかなく、ほとんどが市外の高校に通学しています。そんな高校生たちに、下野市で活動する中で“自分たちのやりたいことを実現する”プロセスを踏んでいただき、自己効力感や自己肯定感を高めることを目的とし、本プロジェクトを運営していきます。



## 一般社団法人 Roots4

メンバー：小林 岳さん、塩田 典保さん、仲田 海人さん

Idea

### 子どもたちと家族のために、専門家が地域に飛び出す社会をつくる！

Roots4 は、子どもの分野（発達障害、不登校、医療的ケアなど）を専門とした作業療法士３名による団体です。私たちは子どもたちの生活する地域（保育園・幼稚園、小中学校など）での様々な「困りごと」に応えられていない歯痒さを感じていました。そこで「訪問療育・訪問相談」、「研修会」、「イベント」を軸とし、専門家が地域に出ていく活動を始めました。地域で家族や先生方と協力しながら、子どもたちの育ちを支えられるように、そして、地域で活動できる専門家・支援者が増えるようにという想いで活動しています。２０２３年４月から栃木県県北地域を中心に活動を開始し、２０２４年４月から一般社団法人として事業を進めています。

栃木県地域づくり担い手育成事業

# とちぎ地域づくりインターンシップ








## 地域団体と若者のマッチングにより、地域課題の解決を目指す

地域活動の将来の担い手育成や地域づくり団体の安定的な運営の基盤づくりを目指すプログラムです。県内の地域づくり団体と、高校生から２０代社会人までの若い世代をマッチングし、約半年間「地域の活動を知る→実際に体験する→自分から動いてみる」というプロセスで地域づくりに参画していきます。２０２３年度は２０人の若者が県内９団体でインターンシップを行いました。プログラム終了後の現在も団体に関わり続け、地域づくりの実践者となっている若者もいます。また、地域に踏み出す機会がない中で、地域での実践の機会を得られることによる満足の声を多数いただいています。

※栃木県地域振興課受託事業

❶❷❸インターンシップ活動体験の様子

参加者の声



**渡邊 萌佳（わたなべ もえか）さん**

「自分の住む地域のことをもっと知りたい！」。そんな想いで参加したプログラムです。当時社会人２年目だった私は、地域のことも何ができるかも分からない漠然とした不安がありつつも、社会人も参加可とする本プログラムを見つけ応募を決めました。約半年の活動期間で、複数団体の活動を体験し、コミュニティFMにて約３ヶ月間の番組企画・放送業務に挑戦しました。応募時の想像を越える出会いと縁に恵まれ、次第に地域密着のコミュニティFMの魅力に引き込まれ、インターン後に正規パーソナリティとして採用いただき、本業と掛け持ちをしながら朝と夜のラジオ放送を担当しています。コミュニティFMには日々地域の情報とキーパーソンが集まり、まちづくりの奥深さを実感しています。とちぎユースの運営から自分の興味関心が広がり、更にWワークにも繋がったことに大変感謝しています。今後も、もっともっとまちづくりのことを探求したいです。

若者未来デザイン事業

# みらいラボ








## 若者が『理想のとちぎ像』を描き、探求・発表するプログラム

若者が未来の『理想のとちぎ像』を描くプログラムを運営しました。本プログラムは、参加者の若者たちが“食と農”“エリアイノベーション”“観光”など、それぞれ関心のあるテーマに分かれて、テーマごとに理想とする将来のとちぎ像を描きました。参加者は８月から２月にかけて、およそ７か月間テーマを探求し、最終的には県総合文化センターで開催された『若者未来デザインフォーラム』にて『理想のとちぎ像』の発表を行いました。

※株式会社下野新聞社受託事業

❶プログラム参加者の集合写真　❷❸『理想のとちぎ像』を発表する様子

参加者の声



**石井 優衣（いしい ゆい）さん**

参加した本プログラムでは、栃木県の魅力あふれる郷土料理である『しもつかれ』をより多くの方に食べてもらうことを目標に、『しもつかれコロッケ』という食べやすいアレンジ料理を作りました。作成したコロッケはしもつかれイベント等で出品し、食べていただいた方からご好評いただき、とても嬉しかったです。私は地域の食が本当に大好きで、食と農を取り巻く現状の調査や話し合い、課題や創りたい未来を興味関心分野の近い参加者のみなさんと共に深く考える機会になったことがとても楽しかったです。また、参加者である他大学の学生や社会人の方々との交流を通し、充実した時間を過ごすことができました。期間中は『しもつかれブランド会議』など、数多くの大人の方の支えも実感しました。これからも食にまつわるテーマで活動を続けていきたいと思います！

# 2023年度事業一覧

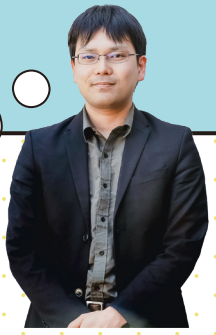
## 自主事業

iDEA→NEXT
あしかもメディア
宇都宮市西地区支え合いプロジェクト
実践型インターンシップ“GENBA CHALLENGE”
地域づくりフェア
ユースハウス
若者コミュニティ「よりも」
企業1日体験プログラム“WORK TRIP”

## 委託事業

栃木県地域づくり担い手育成事業業務委託　※栃木県地域振興課課受託業務
令和5年度　シモツケ大学・公共空間利活用社会実験（石橋エリア）企画運営業務委託　※下野市総合政策課受託業務
令和5年度（2023）宇大未来塾プログラム－とちぎ志士プログラム第7期前期－　※宇都宮大学受託業務
令和5年度（2023）宇大未来塾プログラム－とちぎ志士プログラム第7期後期　※宇都宮大学受託業務
令和5年度（2023）宇大未来塾プログラム－次世代経営マネジメントプログラム開発・実施事業－　※宇都宮大学受託業務
宇都宮海星女子学院放課後学習支援業務委託　※学校法人宇都宮海星学園委託業務
令和5年度滞在型グリーン・ツーリズム推進事業業務委託　※栃木県農村振興課受託業務
「栃木県誕生150周年記念若者未来デザイン事業」ミライらぼワークショップ・フィールドワーク運営業務　※株式会社下野新聞社受託業務
令和5年度とちぎデジタルハブコーディネート業務委託　※栃木県デジタル戦略課受託業務
説明会開催における参加者募集・集客業務　※有限責任監査法人トーマツ受託業務
「宇都宮市起業家支援施設」メンタリング業務委託　※株式会社エンターテイン受託業務
宇都宮市創造都市研究講座事業費　※宇都宮市創造都市研究センター受託業務
ヤングケアラーに関する啓発イベント開催業務　※栃木県子ども政策課受託業務
「うつのみや創造都市プロジェクト」の運営支援業務　※株式会社エックス都市研究所受託業務
自治会活動等に関するアンケート調査結果報告書作成業務　※那須烏山市自治会連合会受託業務
栃木県スタートアップ支援事業講師謝金　※有限責任監査法人トーマツ受託業務
宇都宮市移住希望者交流事業　※NPO法人ふるさと回帰支援センター受託業務
中山間地域人材育成支援事業参加者募集広報　※NPO法人トチギ環境未来基地受託業務
［ニューフロンティアプログラム］発送業務　※宇都宮大学受託業務
宇都宮空き家会議　※宇都宮市生活安心課受託業務
ニューフロンティアプログラム記事作成　※宇都宮大学受託業務
シモツケUターン促進事業　※下野市総合政策課受託業務

若者コミュニティ“よりも”の運営開始や、ミライチャレンジプロジェクト（栃木県）や宇都宮市未来創造プロジェクト“みやプロ”（宇都宮市）といった伴走支援を行うプログラムの増加により、個々の若者の想いに寄り添いながら挑戦をサポートしていく機会は大幅に増加しました。一方で、当会事業に参加する若者の母数を増やす取り組みの拡充を十分に行うことができず、より多くの若者に向けて機会提供を行う仕組みづくりには課題が残る結果となりました。また、組織横断的な共創の仕組みづくりについての依頼が増える傾向にあることから、今後若者のアイデアや視点を生かした社会の新しい仕組みづくりの重要性を感じられる年となりました。



事務局長　渡邊（わたなべ）　貴也（たかや）

# これまでの自分を変え、可能性を拓くために。



宇都宮共和大学 3年生
青山 翔（あおやま しょう）さん

## 県内の魅力を発信する“あしかもメディア”と若者コミュニティ“よりも”に携わる

大学２年生から約２年間ユースでインターンシップをしており、現在はあしかもメディアとよりものプロジェクトに携わっています。栃木県の魅力的資源を発信する『あしかもメディア』では、県内で活動する学生や社会人にお話を伺い記事執筆とその発信、若者が地域活動に一歩踏み出せる場をつくりサポートする『よりも』では、チラシの配布や PR 活動、SNS 発信などを行いコミュニティの周知をしています。また、ロゴやチラシの制作など、デザインにも携わらせていただいています。自分は大学２年生の終わり頃に学外の活動を初めて知り、「もっと早く知れていたらよかった」という気持ちを抱いたので、活動を行う上で特に大学１年生～２年生に対して学外活動の魅力や実態を伝えることを心がけています。

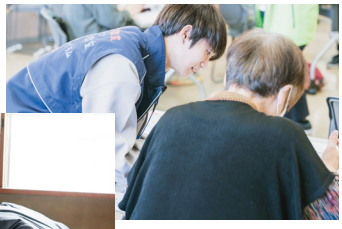
## インターンシップを始めたきっかけは、「変わりたかったから」

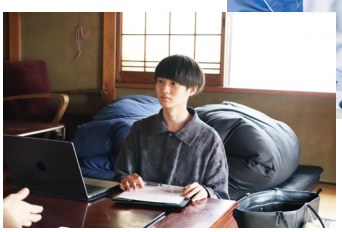
大学２年生の時、ゼミ活動の一環でユースの事務所がある『aret』に初めて訪問しました。そこでスタッフの方に誘われて参加した『あしかもメディア』の LINE オープンチャット内でインターン生を募集していることを知り、「やってみたい」と応募したことでユースと関わり始めました。インターンシップを始めようと思ったきっかけは、“変わりたかったから”です。当時は学園祭の実行委員長を終えたタイミングで、自信と達成感を得た一方、「もっとできることがあるんじゃないか」と思うようになっていました。同時に、視野が広がったことで“自分よりも動いている人”や“自分よりもできる人”の存在が目に映るようになり、危機感や不安感を抱いていたんです。そこで自分の無力さを感じるとともに、「もっと色々なことに挑戦して自分の可能性を広げたい」「できることを増やして変わりたい」という想いが芽生え、ユースでインターンシップを始めようと思いました。



## 取材を通して学んだことは、“原点に立ち返ること”と“自分なりに考察すること”

あしかもメディアのライターとして活動する中で、特に印象に残っているものが、とある方へ取材を行った際に言われた言葉です。その方は、「“何のためにやるのか”が大切」「作業者ではなく“創り出す”仕事をすることが大切」と言っていて、それを聞いた瞬間はっとしました。その日から、「これって何にためにやるんだろう？」と目的を見据えて原点に立ち返ること、単に言われたことをやるのではなく「どう自分なりに考えて形にするか」と思考することを意識するようになりました。





愛称は
「あおちゃん」！
動画制作が得意です！

## 「若者が帰ってこられる場所になったらいい」という言葉が救いに



実は、約１年ほどインターンシップを休んでいた期間がありました。たまたま東京で映像制作や動画編集に挑戦できる機会があり、「飛び込んでみたい」と栃木県を離れることを決めたからです。そして大学を休学し、「インターンシップをお休みしたい」と代表理事の岩井さんに相談すると、「行っておいで」と快く背中を押してくださって。その時に言われた「ここ（ユース）が若者が帰ってこられる場所になったらいいなと思っている」という言葉が今でも心に残っています。その言葉があったから、栃木県に戻ってきた時に「インターンシップを再開しよう」と決意することができました。同時に、挑戦を後押ししてくれる存在や場所の大切さを改めて実感し、「自分も誰かの背中を押せる（挑戦を応援できる）存在になりたい」と思うようになりました。

## 「これまでの自分とは何もかも違う！」出会った人の数と身についたスキルが教えてくれたこと

ユースと関わりを持ててよかったなと思うことは、出会う人の数が圧倒的に多くなったことです。ユースと関わりのある方の多くは、誰かのために一生懸命に活動されていて、かつ真摯に物事に取り組まれている方が多く、学びながらとてもいい刺激をいただいています。また、社会人や他大学生など、普段関わることのない方々との交流を通じて、多様な価値観や考え方、知見を吸収することができ、自分の世界がほんとうに広がりました。



なにより自信がつき、自分の意見をしっかりと他者に伝えることができるようになりました。「どうしたらできるようになるのか？」と諦めずに試行錯誤する力や論理的に考える力、言語化して正確に伝える力も身につき、できることの幅もかなり広がったと感じています。もはや、以前の自分とは何もかも違うような気がしています！（笑）

## 誰かの「やりたい」を後押しするために、自分の挑戦をやめない

これから、誰かが何かやりたいと思った時に挑戦しやすい環境やサポートできる体制をつくるなど、誰かの挑戦を後押し（応援）できる存在になるために動いていきたいです。同時に、誰かのことを助けるためには自身の成長やスキルの向上が不可欠だと思うので、自分の可能性を模索して広げていくためにも、日々新しいことに挑戦し続けていきます！

### --- 青山さんから若い方へメッセージ ---

「**経験とは、経過した時間ではなく、自らが足を踏み出した歩数によってカウントされていくのである**（堀江 貴文氏）」。この言葉が深く印象に残っていて、これまでの経験上、“とにかく一歩踏み出し経験を重ねて成功体験を増やしていくこと”の大切さを実感しています。やってみないと分からないことはすごく沢山あるので、まずは自分のできる範囲で少しずつできることを増やし、自信を持てる若い方がもっと増えたらいいなと思っています。自信が持てると新しいことにどんどん挑戦できるようになり、自分の可能性をさらに広げられるようになります。迷った時は、ぜひ一歩踏み出してみてください！


私たちと一緒に、
**最初の一歩**を踏み出してみませんか？

とちぎユースサポーターズネットワークは、一人ひとりに合わせたインターンシップやプログラムを提供しています。法人設立から延べ 42,884 名もの大学生や若手社会人等の若者と関わりがあるなかで感じることや課題を、事業の重要な要素として取り入れながら活動しています。日々若者の声を聞きながら活動している私たちだからこそできることがあります。挑戦したいことがある方も、悩みがあって中々前に進むことができない方も、まずはあなたのお話を聞かせてください。ぜひ、興味のあるものから一緒に一歩を踏み出してみませんか？

詳しくはこちら

# 応援者の声

## “自分らしさ”を見つけられる場所

**会社員 / 森 満里奈（もり まりな）さん**



「人生を変えたい」と思って調べものをしていた時、とちぎユースサポーターズネットワークさんに出会いました。仕事の合間にボランティア活動をさせていただいたり、様々なイベントに参加させていただいたり、たくさんの経験をさせていただきました。ユースさんのお陰で、様々な方と出会い、地域で暮らすことの魅力や温かさ、自由さを知りました。自分らしさに悩んだ時に必ず戻ってくる原点です。これからも応援しております！

## 若者の挑戦を全力で応援する存在

**株式会社オリゼ代表取締役 / 小泉 泰英（こいずみ やすひで）さん**



私が２０歳のときに関わり始めてから７年もの月日が経過しました。当時は大学生で、経営者ではありませんでした。そして起業するきっかけとなったのが、まさに岩井代表の講義です。あの時間がなければ、もしかしたら今の自分はなかったかもしれません。当時の自分のような若者の挑戦を全力で後押しするとちぎユースサポーターズネットワークさんを、これからも全力で応援させていただきます！

## 素敵で温かい人が集う場所

**障がい児支援サークルNOBA / 小山 凜志朗（こやま りんしろう）さん**



２０２３年６月。とちぎユースサポーターズネットワークさんと出会ってから、１年半が経ちました。大学に入学し、「何か挑戦してみたいけどその一歩が踏み出せない！」と思っていた私の背中、「障がいのある子どもたち、ご家族と一緒に外出したい！」という私たち障がい児支援サークル NOBA の想いをそっと押してくださったのがみなさんであり、「iDEA→NEXT」でした。立ち上げから数年しか経っていない１サークルに対して、一緒に悩んでくださり、ともに駆け抜けたあの時間は、私にとって一生の財産です。みなさんと出会い、「できるかは分からないけど、まずは挑戦してみよう！」と一歩踏み出す勇気の大切さを学びました。今後の活動も、心の底から応援しております！

## 人を輝かせ、無限の可能性を生み出そう！

**ビジョナリーサポート 代表 / 山下典江（やました のりえ）さん**



岩井代表からお声かけいただき、ユースさんの理事を務めています。関わり始めてから熱い想いを持つ前向きな若者との出会いが沢山あり、その度に元気や刺激をいただいています。みなさんの夢いっぱいの未来を描くお手伝いをさせていただくとともに、資金調達や財務管理に苦手意識を抱いている方などに向け、コーチングや中小企業診断士の知識・ノウハウを活かしてお役に立てることがあればという気持ちで関わらせていただいています。若者の想いを汲み取り挑戦を後押しし、多くの人を巻き込みながら活動しているところが素晴らしいと感じています。前向きな若者にも将来に不安感を抱いている若者にも耳を傾け、気持ちを寄せ続け、ますます栃木県を元気にしてくれることを願っています。

# 多くの企業様・個人の方からご支援いただいています

Selecty 株式会社セレクティ　株式会社セレクティ

株式会社 ル・リオン Design Office le Lion　株式会社ル・リオン

こらぼワーク　企業組合とちぎ労働福祉事業団

ZEAD　株式会社ジード

TOCHIGI 栃木銀行　株式会社栃木銀行

一般社団法人えんがお / 株式会社エンターテイン / 一般社団法人 Say smile アカデミー / 一般社団法人 nasu lab. / 株式会社 akf / 株式会社 AXIA / 株式会社アール・ティー・シー / 株式会社あを / 株式会社 innovista / 株式会社クレスコム / 株式会社 JcT クリエーションズ / 株式会社万邦通商 / 株式会社リアンコーポレーション / 株式会社ワカヤマファーム / 株式会社ワークエントリー 栃木事業部 / 合同会社新しい箱 / つばめソリューション株式会社 / 特定非営利活動法人サロンみんなの保健室 / 特定非営利活動法人中之条コネクト / 特定非営利活動法人はばたき / 菜の花どうぶつ病院 / ファームサイド株式会社 / 有限会社ドンカメ / YUM innovation

※並びは５０音順

賛助団体・企業 **13** 団体 / 運営会員 **47** 名 / 賛助会員 **30** 名

個人寄付者数 **168** 名

*thank you*

**数多くの方のご支援により、認定 NPO 法人化に向けた申請資格を得ることができました。２０２４年度は認定 NPO 法人化を目指します。**

※認定 NPO 法人への寄付は税控除の対象となり、確定申告で寄付額の約４０％が所得税と住民税から控除されます（控除額はお住まいの自治体により決定されます）。

## 取材・新聞掲載

**13回**

（掲載メディア）
下野新聞
読売新聞
日経新聞
日本経済新聞

## 講演・講義

**61回**

大学生や行政職員に向けて、講演・講義を実施しました

## 若者への活動提供

延べ人数**4,881人**の若者に、**13,578時間**を提供しました

＊相談対応、プログラム提供、イベント参加などの合計時間

## 会計報告

| | 収益部門 | 非収益部門 |
|---|---|---|
| 経常収益 | 40,667,899 円 | 39,812,698 円 | 2,206,412 円 |
| 経常費用 | 41,117,674 円 | 39,444,955 円 | 2,743,195 円 |

法人全体への期待の高まりによって、事業領域が新たに開拓され、昨年度と比べ増収となりました。しかし会費・寄付金・自主事業収入が目標に届かず、経常利益は減少しました。右のQRコードより、詳細をご覧いただけます。

詳しくは右のQRコードから

**若者の挑戦と成長を後押し、**
**より良い地域をつくっていくために**
**私たちのチャレンジを応援してください！**

## ご寄付のおねがい

皆様から受け取ったご寄付は、未来をつくる若者たちを育んでいくために、若者が地域の課題解決現場に足を運ぶワークキャンプや、若者コミュニティ事業、『iDEA→NEXT』などに活用させていただきます。



### 会員になって応援する

当会の趣旨に賛同し、若者が活躍する未来を共に創ってくださる会員を募集します。団体運営にご参画いただける方は運営会員、活動を応援してくださる方は賛助会員としてご参加ください。

### 寄付・協賛で応援する

毎月ご支援いただくマンスリーサポーターや、単発寄付で応援していただける方を募集しております。

当会へのご寄付・ご協賛・ご入会は、プラットフォーム「Syncable（シンカブル）」にて受け付けております。お手続きは右のQRコードからよろしくお願いいたします。

https://syncable.biz/associate/tysn

# Tochigi Youth Supporters Network

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク
〒320-0862 栃木県宇都宮市西原 1-3-4 áret 1F
https://www.tochigi-ysn.net

028-612-1575　ysn_office@tochigi-ysn.net
@mjq9564b　@youth_tochigi
https://www.facebook.com/tochigiysn